

参考資料② アンケート調査結果

1. 市民・事業者・若者アンケート調査結果

（1）調査目的

本アンケート調査は、高山市地球温暖化対策地域推進計画（計画期間：平成22年度～令和2年度）の見直しにあたり、地球温暖化対策などに対する取り組みやご意見を市民の皆様からお伺いし、計画に反映するため実施したものです。

（2）アンケート結果

ア）市民

【概要】

- ・ 調査地域 高山市内全地域 1,010人
 - ①市内在住の18歳以上75歳以下の世帯主900人
 - ②高山市快適環境づくり市民会議（個人・団体）会員110人
- ・ 抽出方法 令和2年2月12日現在の住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 調査方法 郵送による配布・回収、無記名式
- ・ 調査期間 令和2年2月19日～3月17日
- ・ 回収結果

発送数	1,010人
回収数	453人
回収率	44.8%

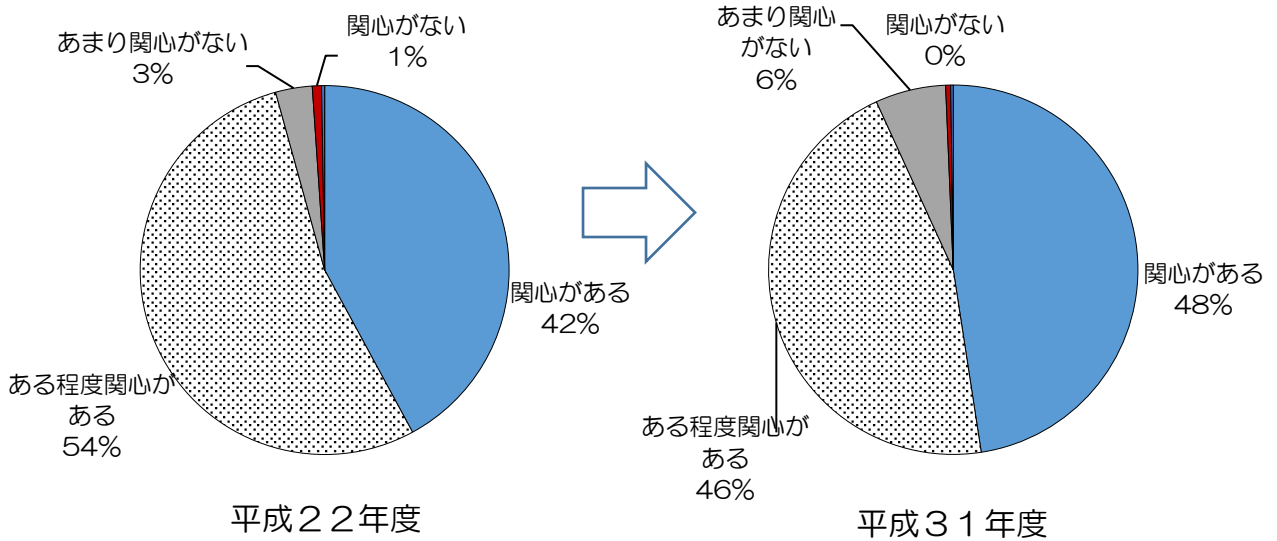
【調査結果】

○回答者の属性

	回答数	割合
10・20代	41	9.1%
30代	71	15.7%
40代	84	18.5%
50代	97	21.4%
60代	87	19.2%
70代以上	72	15.9%

○地球環境問題について

➤地球の温暖化や気候変動などの、地球環境問題に関心がありますか。



➤地球温暖化による気候変動の影響について実感がありますか。

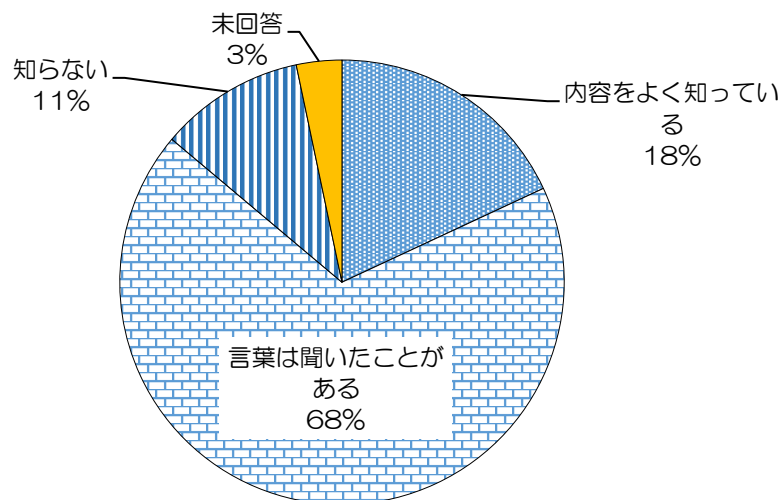
項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない
猛暑日が増えていると思いますか	78.6%	17.0%	1.1%	0.4%	2.9%
熱中症などの健康被害が増えている と思いますか	48.3%	36.9%	3.5%	0.9%	10.4%
ゲリラ豪雨などの極端な気象現象 や、災害（洪水、土砂災害）が増え ていると思いますか	68.4%	24.9%	0.9%	0.7%	5.1%
農作物の収穫量や品質が低下してい ると思いますか	28.7%	36.0%	9.9%	1.5%	23.8%
身の回りで見られる生き物の種類や 状況が変化していると思いますか	26.0%	38.6%	10.6%	2.9%	21.9%
桜の開花や紅葉、降雪の時期の变化 など、季節感が変わっていると思 いますか	64.9%	25.8%	2.6%	0.7%	6.0%

➤地球温暖化による気候変動は、将来にわたって自然や人間に様々な影響を与えることが危惧されていますが、あなたは、どのような影響を問題だと感じますか。

項目	回答数
洪水、土砂崩れなどの自然災害が増加すること	363
豪雨による停電や交通マヒなどインフラ・ライフラインに被害がでること	303
野生生物や植物の生息域が変化すること	263
農作物の品質や収量が低下すること	258
熱中症が増加すること	229
生活環境の快適さが損なわれること	222
湯水が増加すること	192
感染症が増加すること	176
水質が悪化すること	131
工場や生産設備への被害	43
未回答	13
特に問題はない	6
わからない	6
その他	4

○地球温暖化防止の取り組みについて

➤平成27年にフランスのパリで開催された国際会議「COP21」で採択された、温室効果ガス削減などのための新たな国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。

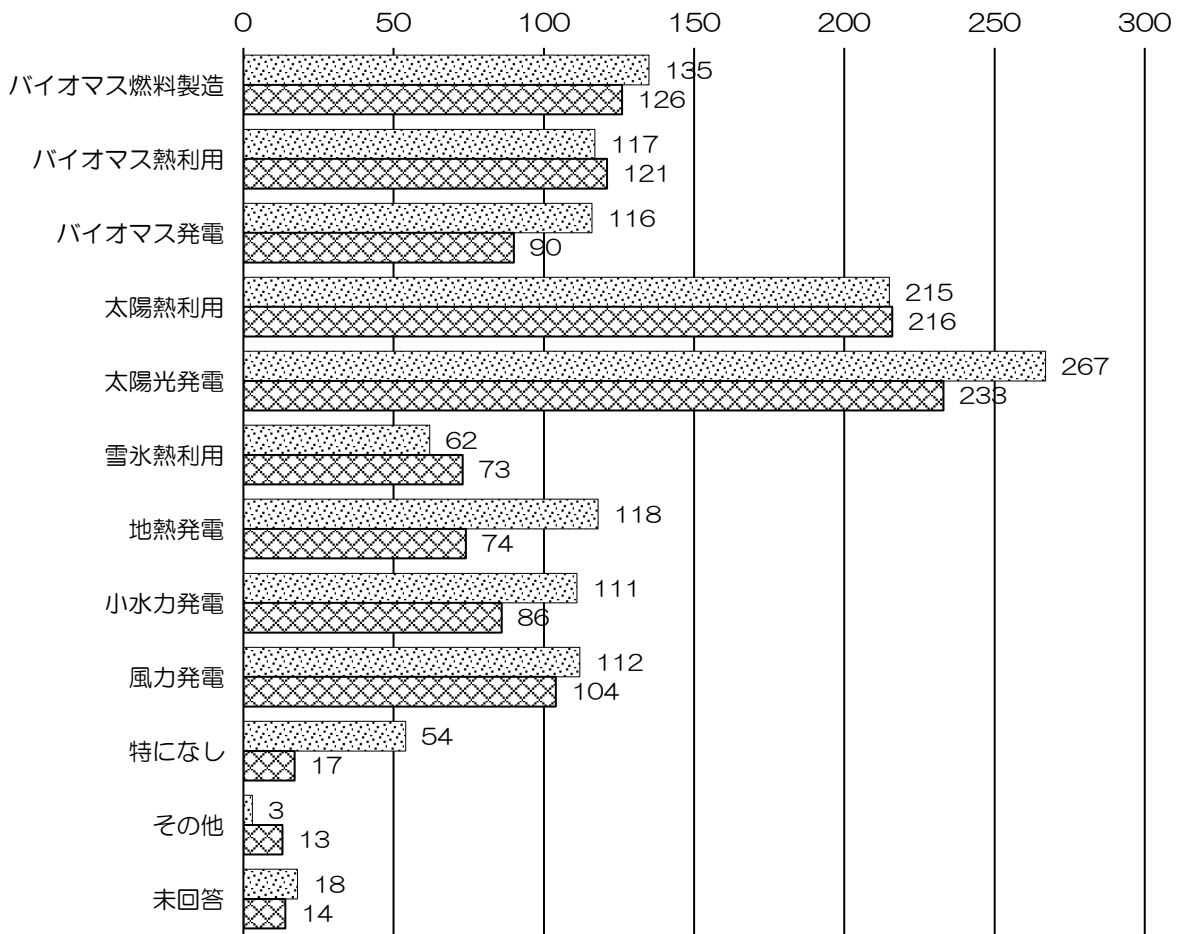


➤「COOL CHOICE」をはじめとする、環境に配慮した行動への取組みについて、あなたは以下の各項目について日頃から家庭で取り組んでいますか。

	いつも行っている	時々行っている	行っていないが、今後行いたい	行っていない、また今後も行わない	該当しない
ごみの分別ルールを守る	91%	8%	1%	0%	0%
フリーマーケットなどに参加し、衣類などの資源化、再利用化を行う	79%	17%	3%	0%	0%
生ごみ処理機などを活用し、ごみを減量する	62%	31%	4%	2%	1%
エコマーク、再生品など環境に配慮した商品を購入する	53%	37%	6%	1%	2%
シャンプー、洗剤などは詰め替え可能な商品を購入する	56%	31%	8%	2%	2%
買い物の時エコバッグを持参し、レジ袋はもらわない（買わない）よう心掛ける	58%	28%	10%	1%	2%
食材を購入する際には、地産地消、また旬な食材を購入するよう心掛ける	37%	47%	8%	3%	4%
照明やテレビ、パソコン等のスイッチをこまめに消す	49%	31%	13%	3%	3%
長時間使用しない電気機器は主電源を切り、コンセントからプラグを抜く	40%	36%	13%	3%	6%
室内温度を夏は28℃以上、冬は20℃以下になるようにする	54%	21%	13%	3%	7%
家族が同じ部屋で団らんし、エアコンと照明の利用を減らす	41%	33%	14%	5%	6%
炊飯器の保温機能をなるべく使わないようにする	46%	28%	15%	3%	7%
冷蔵庫の開け閉めは出来るだけ少なく、また短時間にす	31%	39%	19%	7%	3%
冷蔵庫の中に物を詰めすぎない	30%	35%	19%	9%	5%
シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない	39%	23%	16%	13%	6%
家族の入浴は間隔をあげないようにする	19%	43%	21%	9%	5%
温水洗浄便座の便座暖房の温度を低めにする	11%	44%	29%	8%	7%
生垣の設置など、住宅の緑化に取り組む	25%	18%	26%	11%	17%
近くであればマイカーの使用を控え徒歩や自転車を出掛ける	7%	23%	31%	22%	13%
通勤やレジャーにはマイカーの利用は控え、バスや鉄道等を利用する	16%	10%	28%	26%	18%
自動車を運転する際は、アイドリングストップ、ゆるやかな加速、減速など、エコドライブを心掛ける	7%	15%	23%	34%	19%

○新エネルギーの導入について

➤太陽、風、水力、バイオマスなどから得られる再生可能なエネルギーは、「新エネルギー」と呼ばれ、二酸化炭素の排出量が少ないため環境への負荷が小さいといわれていますが、あなたは、どのような新エネルギーに関心がありますか。



▨平成31年度 ▩平成22年度

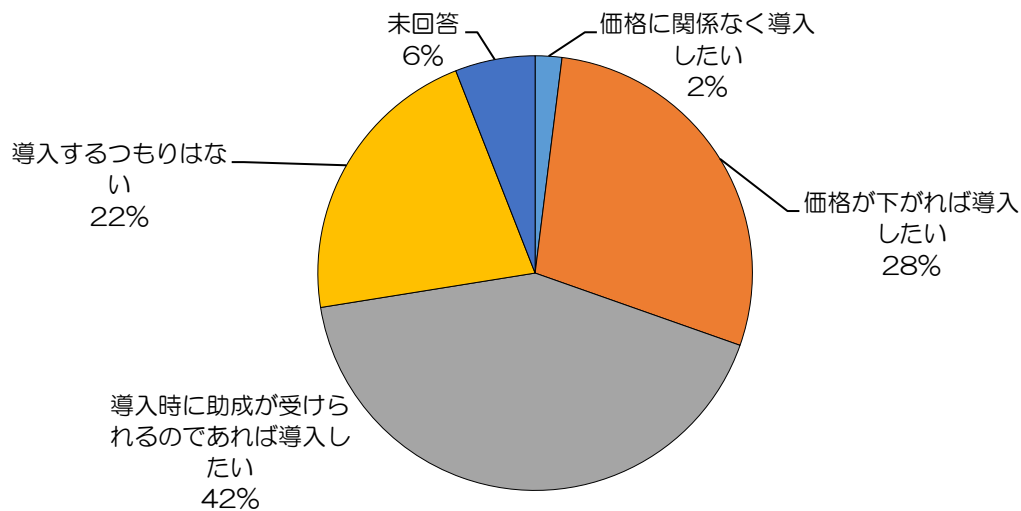
➤ご家庭で導入している新エネルギー・省エネルギー設備等は何ですか。

項目	回答数
太陽光発電	39
薪ストーブ	35
クリーンエネルギー自動車（EV・PHEVなど）	15
太陽熱温水器	9
蓄電池	7
木質ペレットストーブ	5
家庭用エネルギーマネジメントシステム（HEMS）*	2
地中熱利用冷暖房システム	2
その他	3

➤ご家庭で今後導入したい新エネルギー・省エネルギー設備等は何ですか。

項目	回答数
クリーンエネルギー自動車（EV・PHEV車など）	47
太陽光発電	38
蓄電池	38
太陽熱温水器	28
家庭用エネルギー管理システム（HEMS）	16
薪ストーブ	14
地中熱利用冷暖房システム	12
木質ペレットストーブ	7
その他	1

➤今後、新エネルギー・省エネルギー設備等を導入する場合、その費用（設置費用、機器費、維持費等）について、あなたの考えに近いものはどれですか。



➤新エネルギー・省エネルギー設備等を導入するつもりがない理由は何ですか。

項目	回答数
現在の住まいでは設置場所がないと考えているから	37
価格が割高だと考えているから	34
期待通りの性能が得られるかどうかわからないから	26
現在利用している設備が無駄になるから	19
関心がないから	15
手入れや操作が難しそうだから	12
機器を設置すると住まいの外観が損なわれると考えているから	5
その他	16

○高山市の取り組みについて

➤新エネルギーの導入について、高山市としてどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

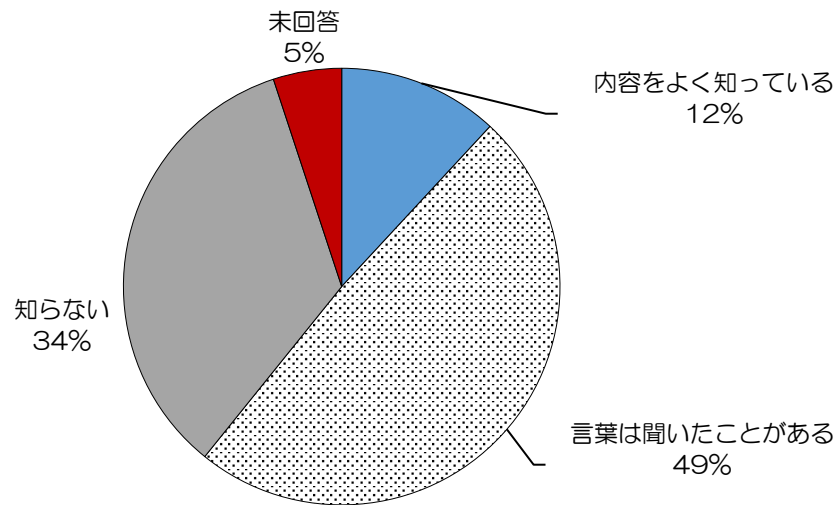
項 目	回答数
公共施設を中心に、新エネルギー等の導入を進めるべきである	229
家庭ごみ等の廃棄物をエネルギーなどとして有効に利用すべきである	215
自然エネルギー等の導入に係る支援策に取り組むべきである	196
森林資源を木質バイオマスとして活用すべきである	141
市民に対する新エネルギー等、普及のPRをすべきである	132
観光施設に新エネルギー等の導入を進めるべきである	120
地域の小川や水路を活かしたマイクロ水力発電を推進すべきである	114
市内の企業に対する新エネルギー等、普及のPRをすべきである	99
上記のいずれも必要ない	13
その他	25

➤地球温暖化防止のために、今後、高山市が取り組むべきことは何だと思いますか。

項 目	回答数
太陽光・太陽熱・風力・バイオマスなど、自然エネルギーの利用促進	211
ごみの減量化やリサイクルを啓発する取り組み	141
省エネを心がけるなどライフスタイルの見直しを啓発する取り組み	128
二酸化炭素を吸収する森林整備の促進	127
学校や地域などでの地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育の充実	122
公共交通機関を利用した通勤や通学が可能になるような取り組み	94
まちづくり（都市計画）に環境保全の考えを取り入れる	90
電気や天然ガスなどのクリーンエネルギーを使用する自動車の普及促進	87
住宅の断熱構造など環境共生型住宅等の普及促進	71
事業者などへの規制や指導の実施	58
市民、団体などによる地球温暖化防止活動への支援	44
温室効果ガスの排出量について具体的な削減目標を定める	30
その他	11

○気候変動による影響への適応について

➢「気候変動への適応」という言葉を知っていますか。



➢気候変動への適応を進めていく上で、市に特にどのような取り組みを求めますか。

項目	回答数
河川の護岸整備、ハザードマップの充実などの「防災分野」	285
緑化の推進、害虫の発生環境の除去などの「生活分野」	155
湧水対策や雨水・再生水利用の促進などの「水環境・水資源分野」	120
高温耐性品種の開発などの「食料分野」	99
熱中症対策の充実などの「健康分野」	76
生物の保護区域の確保などの「自然生態系分野」	62
その他	8

イ) 事業者

【概要】

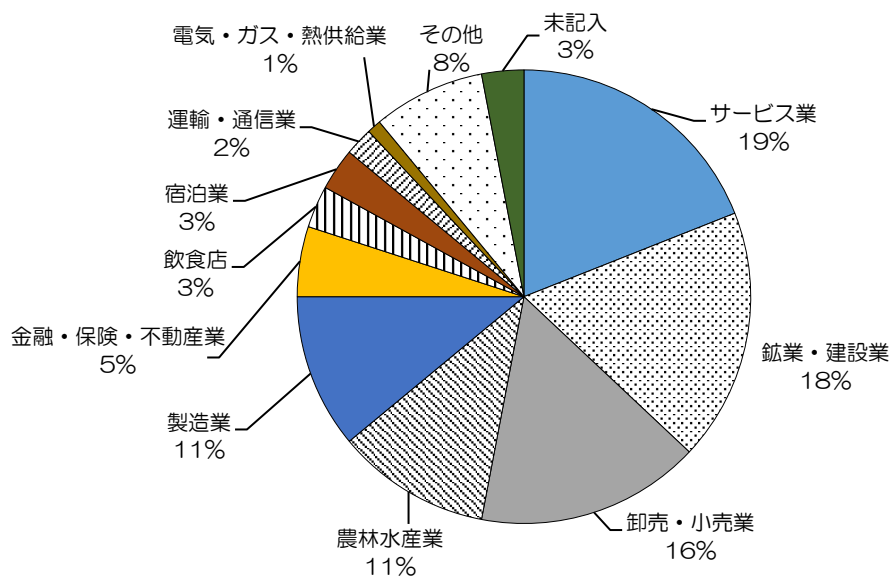
- ・ 調査地域 高山市内全地域
①事業者及び農業法人200件
- ・ 抽出方法 労働実態調査・農業法人リスト（農務課作成）から無作為抽出
- ・ 調査方法 郵送による配布・回収、無記名式
- ・ 調査期間 令和2年2月7日～3月6日
- ・ 回収結果

発送数	200件
回収数	100件
回収率	50.0%

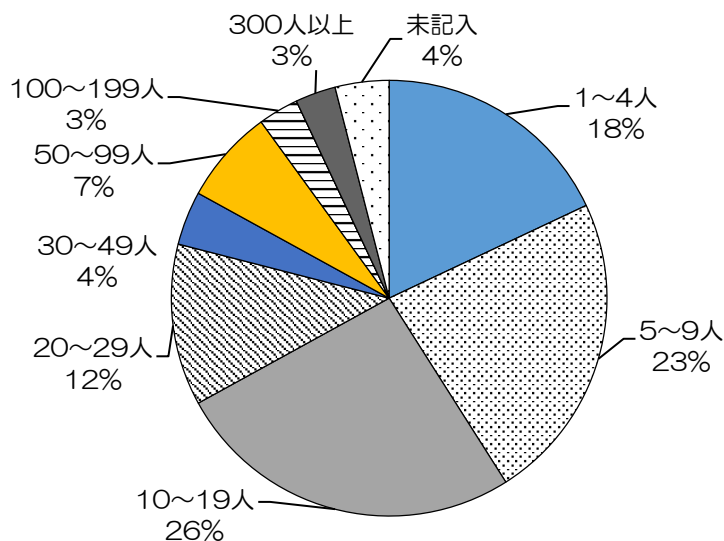
【調査結果】

○貴社・貴事業所について

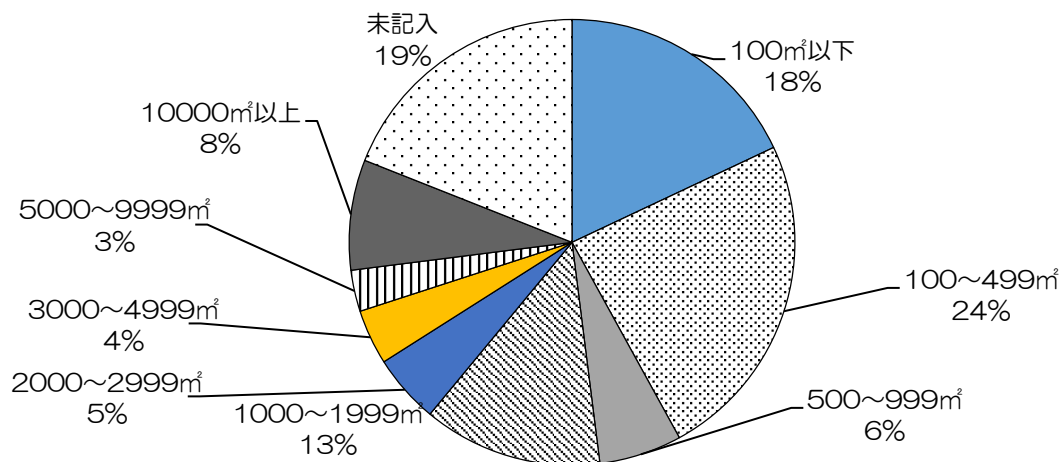
(1) 業種



（２）従業員数

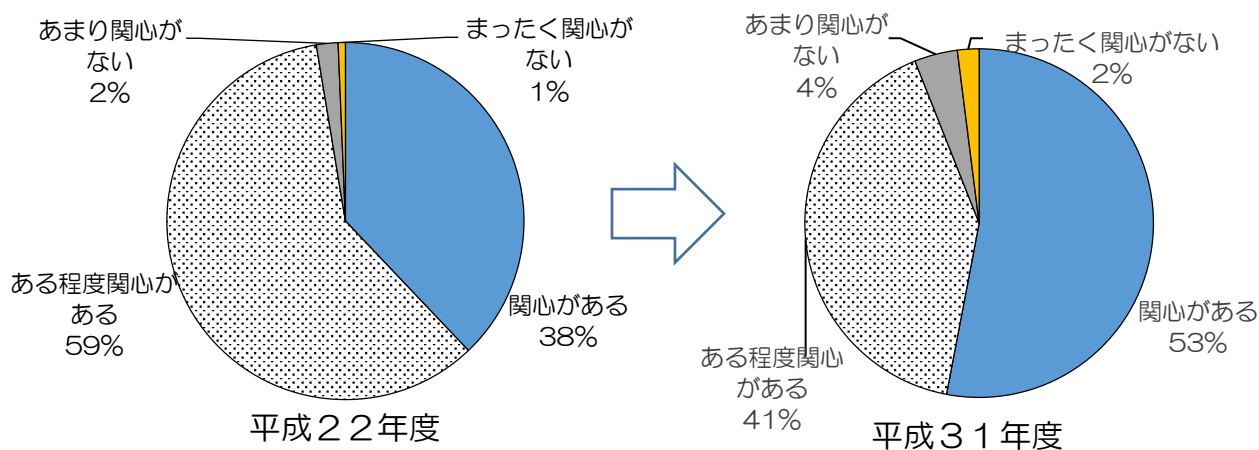


（３）延床面積



○地球環境問題について

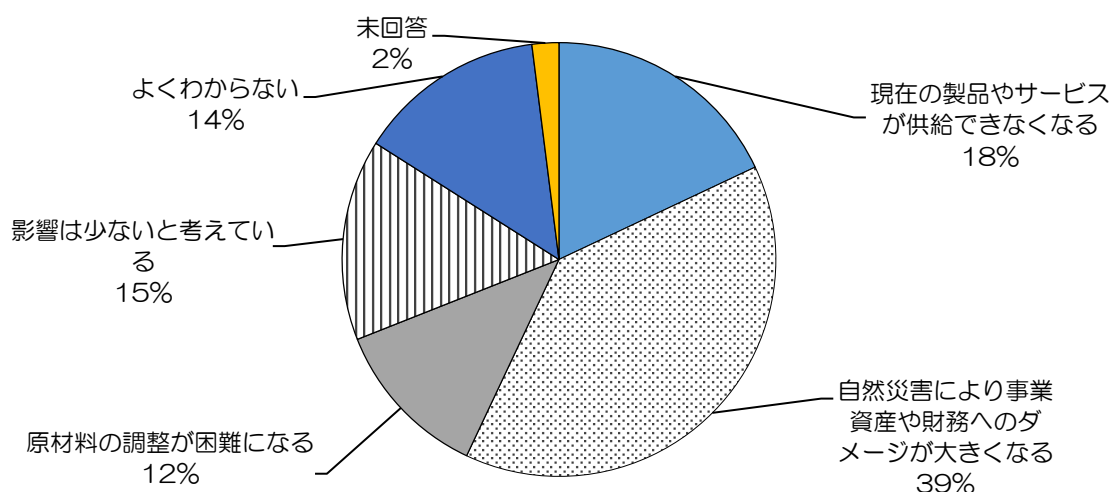
➢貴社・貴事業所は地球の温暖化や気候変動などの、地球環境問題に関心がありますか。



➤ 日常業務の中で、地球温暖化によるどのような気候変動の影響を感じますか。

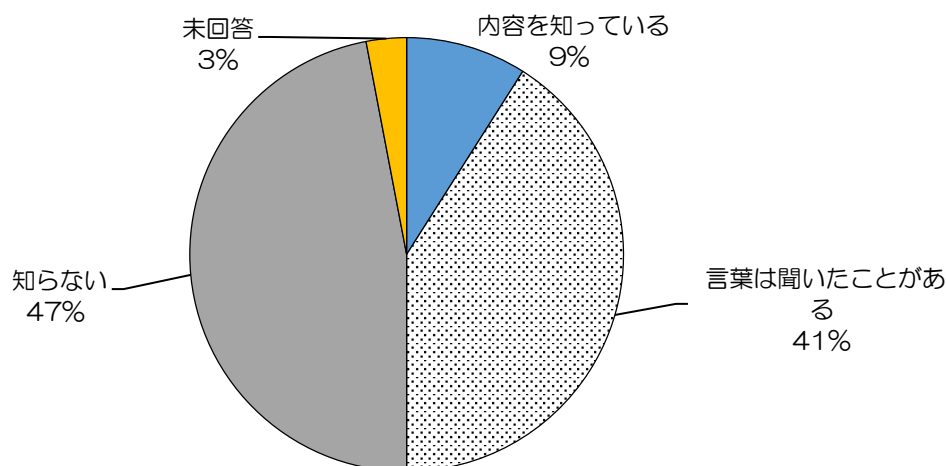
項目	回答数	割合
猛暑日の増加	83	28.3%
ゲリラ豪雨などの局地的大雨による洪水、土砂災害などの増加	83	28.3%
熱中症などの健康被害の増加	45	15.4%
スキーなどレジャー産業への影響	45	15.4%
農作物の収穫量や品質の低下	21	7.2%
季節感の喪失による季節物の売り上げ低下	15	5.1%
特に感じることはない	1	0.3%

➤ 地球温暖化による気候変動は、将来にわたって自然や人間に様々な影響を与えることが危惧されていますが、貴社・貴事業所が考える、気候変動による最大のリスクは何ですか。



○ 地球温暖化防止の取り組みについて

➤ 二酸化炭素の排出が少ない低炭素型の「製品」や「サービス」や「行動」など、温暖化対策のための「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」を知っていますか。



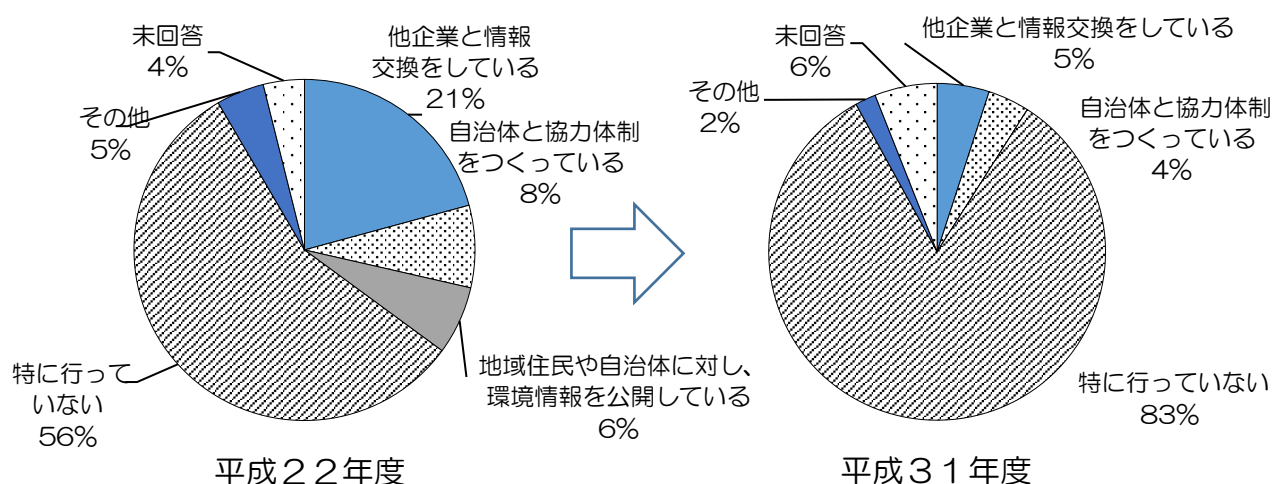
➤ 貴社・貴事業所が地球温暖化対策に取り組む目的は何ですか。

項目	平成31年度		平成22年度	
	回答数	割合	回答数	割合
企業の社会的責任（CSR）として当然であるため	69	33.5%	36	28.3%
地球温暖化対策を進めることは、企業の業績により影響をもたらすため	28	13.6%	24	18.9%
消費者の好意度、支持度、企業イメージなどの向上のため	26	12.6%	19	15.0%
新たな事業活動の展開（ビジネス分野の開拓）のため	10	4.9%	10	7.9%
行政や地域住民との円満・円滑な関係を維持するため	26	12.6%	12	9.4%
事業継続性（BCP）に係るリスクの低減につながるため	19	9.2%	1	0.8%
同業者間の取り決め（環境保全等に関する基本方針・行動指針など）のため	5	2.4%	11	8.7%
本社・親会社からの指示（系列企業全体での取組み）のため	7	3.4%	8	6.3%
取引企業からの要請のため	2	1.0%	2	1.6%
その他・未回答	14	6.8%	4	3.1%

➤ 温暖化対策の取組みを実施する上で、妨げと感じていることは何ですか。

項目	回答数	割合
コストがかかる	55	32.7%
手間や時間がかかる	35	20.8%
ノウハウなど情報の不足	35	20.8%
日常業務の中で常に意識して行動するのが難しい	20	11.9%
特に障害を感じることはない	9	5.4%
取引先や消費者の協力が得られない	4	2.4%
事業所内で協力が得られない	4	2.4%
その他・未回答	6	3.6%

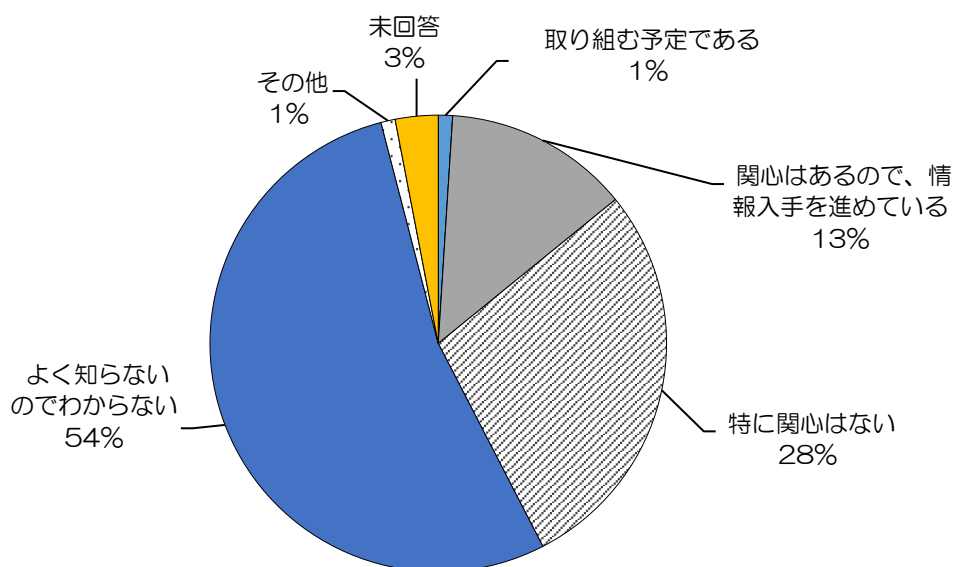
➤ 環境保全対策における他企業や自治体、市民との連携を行っていますか。



➤ 貴社・貴事業所では、地域の環境保全に向けた取組みにどのように関わっていますか。

項目	回答数	割合
事業所施設の周辺の清掃活動を行う	41	31.1%
事業施設の緑化に努める	20	15.2%
地域で行われる環境保全のイベントに、人や物品・資金などを提供する	9	6.8%
地域の環境保全団体や基金に対して、資金や場所・備品などの支援を行う	5	3.8%
社員や市民に対して環境に関する啓発活動を行う	9	6.8%
社員の環境保全のボランティア活動を支援する	8	6.1%
地域や学校などで行われる環境教育に対して、講師・教材・プログラムを提供する	2	1.5%
特に関わっていることはない	31	23.5%
その他	7	5.3%

➤ 貴社・貴事業所では「RE100*」に加盟するまたは「再エネ100宣言 RE Action」に取り組むことを考えていますか。

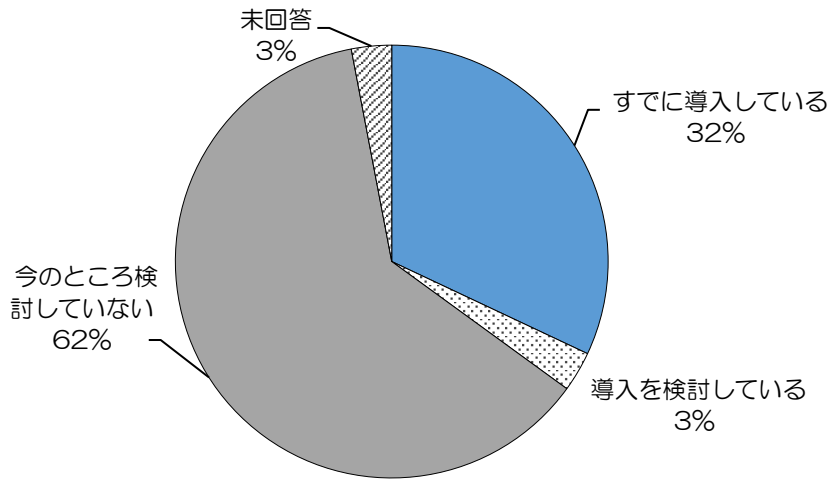


➤ 貴社・貴事業所では、地球環境保全と経済発展の関係について、どのようにお考えですか。

項目	回答数	割合
地球環境保全は、経済発展との調和を図りながら取り組んでいくべきである	39	39.0%
経済発展を多少犠牲にしても地球環境保全を優先させるべきである	21	21.0%
地球環境保全と経済発展はおのずから両立すると思う	12	12.0%
わからない	25	25.0%
その他・未回答	3	3.0%

○新エネルギーの導入について

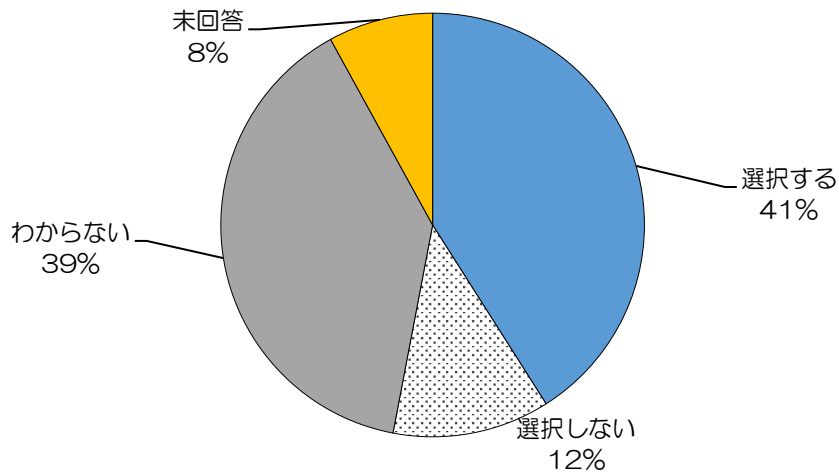
➤貴社・貴事業所では、新エネルギー機器を導入していますか。また、導入したいと考えていますか。



➤貴社・貴事業所において、具体的に新エネルギー導入を進めていく上での問題点はどのようなことですか。

項目	回答数	割合
設置当初に、費用がかかる	44	25.7%
方法・技術についての知識・情報不足	37	21.6%
資金調達が困難	36	21.1%
設備を設置する場所がない	15	8.8%
管理者・技術者の不足	10	5.9%
相談先が分からない	4	2.3%
技術的に困難	4	2.3%
作業効率が落ち、従業員の負担が増える	2	1.2%
特に問題はない	6	3.5%
その他・未回答	13	7.6%

➤自動車購入時には、低燃費で、温室効果ガスの排出量が少ないハイブリッド自動車や電気自動車などの次世代自動車を選択しますか。



○高山市の取り組みについて

➤地球温暖化防止のために、高山市が取り組むべきことは何だと思えますか？

項目	回答数	割合
公共施設を中心に、新エネルギー等の導入を進めるべきである	48	20.6%
家庭ゴミ等の廃棄物をエネルギーなどとして有効に利用すべきである	45	19.3%
事業者向けの新エネルギー等の導入に係る補助金等の助成策に取り組むべきである	43	18.5%
森林資源を木質バイオマスとして活用すべきである	29	12.5%
市の観光施設に新エネルギー等の導入を進めるべきである	21	9.0%
地域の小川や水路を活かしたマイクロ水力発電を推進すべきである	20	8.6%
事業者に対する新エネルギー等、普及のPRをすべきである	18	7.7%
特に必要ない	5	2.1%
その他・未回答	4	1.7%

○気候変動の適応策について

➤気候変動への適応を進めていく上で、市に特にどのような取り組みを求めますか。

項目	回答数
河川の護岸整備、ハザードマップの充実などの「防災分野」	66
緑化の推進、害虫の発生環境の除去などの「生活分野」	34
渇水対策や雨水・再生水利用の促進などの「水環境・水資源分野」	32
高温耐性品種の開発などの「食料分野」	12
熱中症対策の充実などの「健康分野」	14
生物の保護区域の確保などの「自然生態系分野」	16
その他	2

ウ) 若者

【概要】

○調査地域 高山市内全地域

①市内在住の平成14年4月2日生まれから平成17年4月1日生まれまでの市民（高校1年生～3年生に該当） 800人

○抽出方法 令和2年6月17日現在の住民基本台帳から無作為抽出

○調査方法 インターネットによる回答、無記名式

○調査期間 令和2年7月28日～8月16日

○回収結果 発送数 800件
回収数 336件
回収率 42.0%

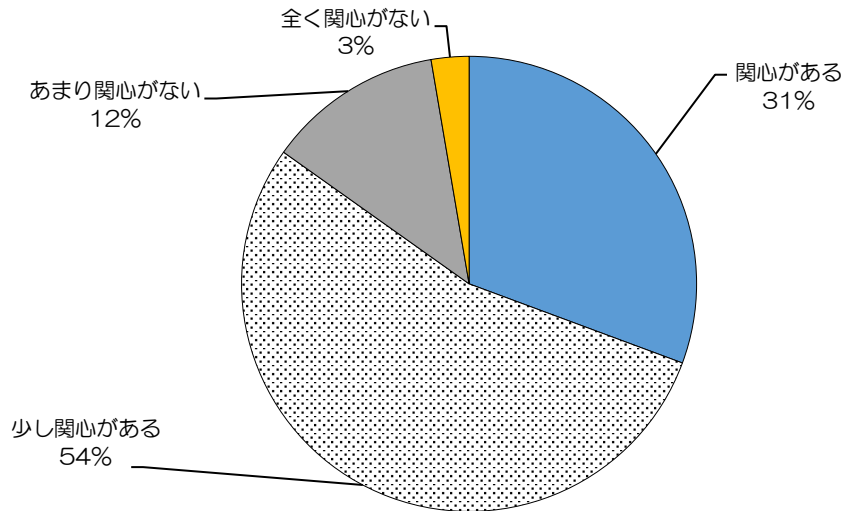
【調査結果】

➤あなたご自身についてお伺いします。どこに住んでいますか。

項目	回答数	割合
高山地域	226	67.3%
丹生川地域	22	6.5%
清見地域	8	2.4%
荘川地域	3	0.9%
一之宮地域	11	3.3%
久々野地域	11	3.3%
朝日地域	7	2.1%
高根地域	0	0.0%
国府地域	34	10.1%
上宝・奥飛騨温泉郷地域	14	4.2%

○地球環境問題について

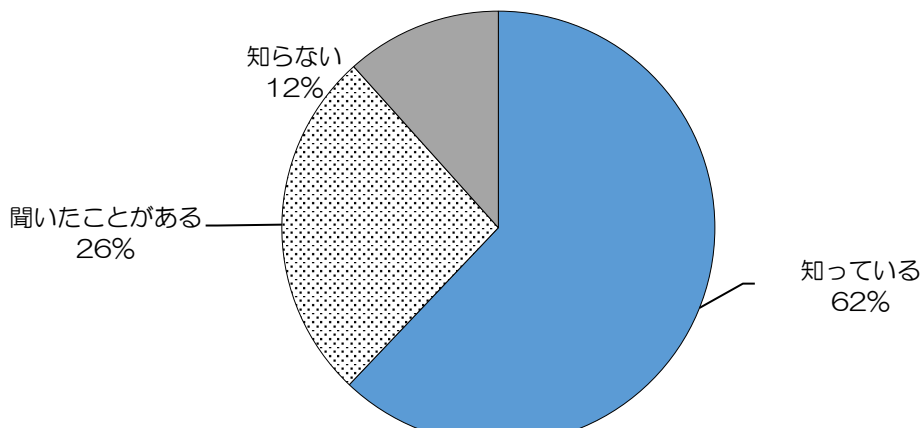
➤地球の温暖化や気候変動などの、地球環境問題に関心がありますか。



➤地球温暖化により気候が変わっていると思いますか。以下の各項目について回答してください。

項目	そう思う	どちらかという そう思う	どちらか という そう思わ ない	そう思わ ない	わから ない
猛暑日が増えていると思いますか。	70.5%	23.2%	4.5%	0.3%	1.5%
熱中症などの健康被害が増えている と思いますか。	49.1%	37.5%	3.9%	1.2%	8.3%
ゲリラ豪雨などの極端な気象現象 や、災害（洪水、土砂災害）が増え ていると思いますか。	90.5%	6.8%	0.6%	0.3%	1.8%
身の回りで見られる生き物の種類や 状況が変化していると思いますか。	19.3%	28.3%	14.6%	6.0%	31.8%
桜の開花や紅葉、降雪の時期の変化 など、季節感が変わっていると思 いますか。	53.0%	28.3%	6.8%	1.8%	10.1%

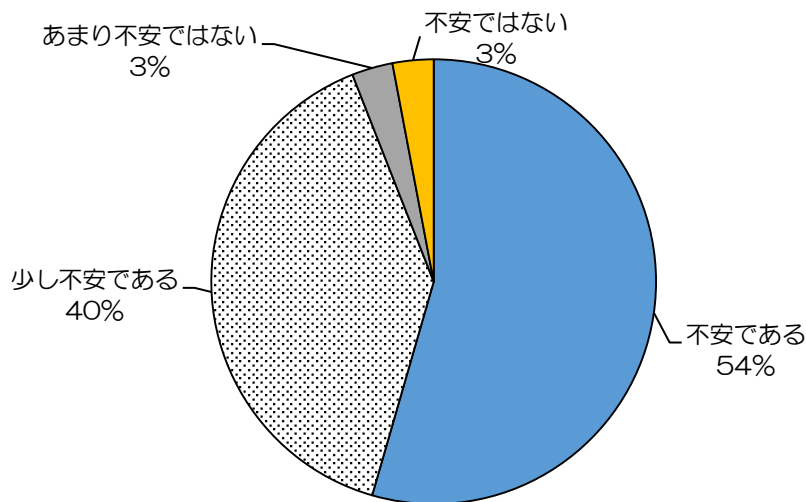
➤地球温暖化による気候変動が、将来にわたって自然や人間に様々な影響を与える
恐れがあることを知っていますか。



➤地球温暖化による気候変動は、将来にわたって自然や人間に様々な影響を与える恐れがありますが、あなたはどのような影響を問題だと感じますか。

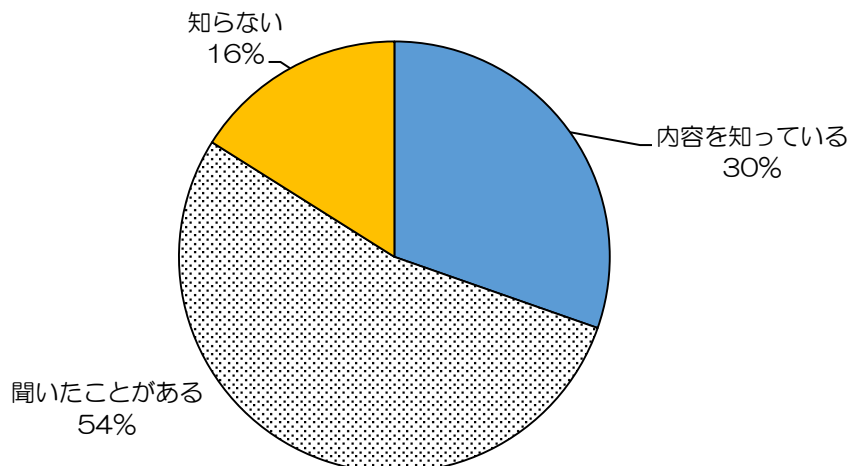
項目	回答数
洪水、土砂崩れなどの自然災害が増えること	251
野生生物や植物がもとのところに住めなくなり、生息域が変化すること	215
農作物の収穫量が減ったり、品質が下がったりすること	201
熱中症が増えること	157
豪雨による停電、交通機関のマヒなど、ライフラインに影響が出ること	151
生活環境の快適さが損なわれること	147
感染症が増えること	114
その他	9
わからない	8

➤あなたは、将来の地球環境について、どのように感じていますか。



○地球温暖化防止の取り組みについて

➤平成27年にフランスのパリで開催された国際会議「COP21」で採択された、温室効果ガス削減などのための新たな国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。

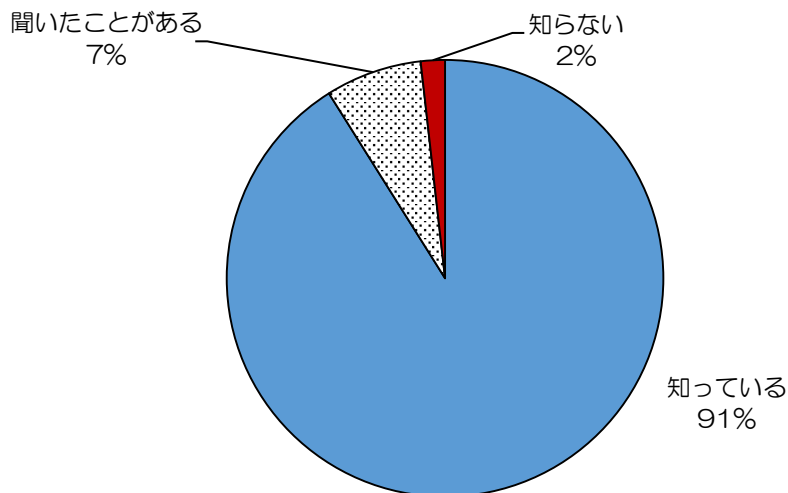


➤あなたが日頃から心がけていることについてうかがいます。以下の各項目についての取組を行っていますか。

項目	いつも行っている	時々行っている	行っていないが、今後行いたい	行っていないし、今後も行わない
ごみの分別ルールを守っていますか	75.9%	19.3%	4.5%	0.3%
シャンプー、洗剤などは詰め替え可能な商品を使用していますか	90.8%	7.1%	2.1%	0.0%
買い物の時、エコバッグを持参するなどして、レジ袋はもらわない（買わない）よう心掛けていますか	51.2%	38.4%	8.9%	1.5%
照明やテレビ、パソコン等のスイッチをこまめに消していますか	53.9%	37.2%	8.3%	0.6%
長時間使用しない電気機器は主電源を切り、コンセントからプラグを抜いていますか	25.3%	32.1%	37.8%	4.8%
冷暖房の設定温度を、夏は28℃以上、冬は20℃以下になるようにしていますか	33.3%	30.1%	24.7%	11.9%
冷蔵庫の開け閉めは出来るだけ少なく、また短時間にしていますか	73.2%	22.3%	3.9%	0.6%
シャワーを使うときは、不必要に流したままにしないようにしていますか	57.7%	27.1%	13.1%	2.1%
水筒やマイボトルを持参するなど、ペットボトルを買わないようにしていますか	42.3%	36.3%	16.4%	5.1%

○自然エネルギーについて

➤あなたは、「自然エネルギー（再生可能エネルギー）」という言葉を知っていますか。



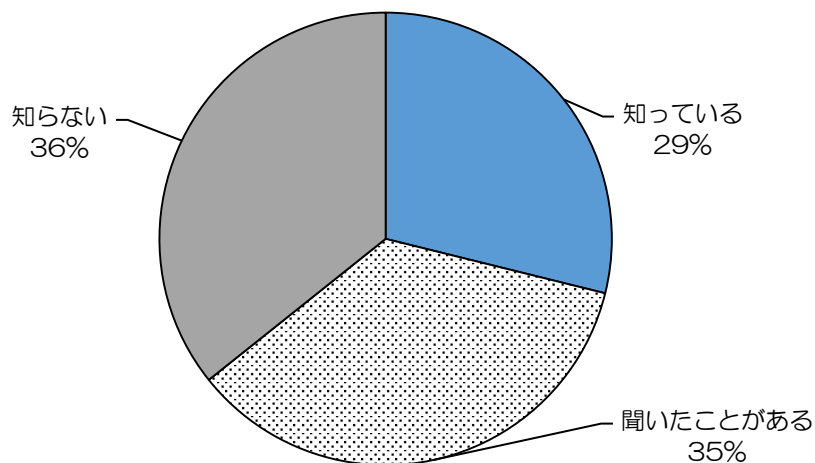
○高山市の取り組みについて

➤地球温暖化防止のために、今後、高山市はどんなことに取り組むべきだと思いますか。

項目	回答数
太陽光・太陽熱・風力・水力・バイオマスなど、自然エネルギーの利用を促すこと	186
ごみの減量化やリサイクルを呼びかけること	144
二酸化炭素を吸収する森林を整備すること	119
公共交通機関（鉄道・バス）を利用しやすくして、外出時に車を使う機会を減らすこと	99
温室効果ガスの排出量について具体的な削減目標を定めること	88
電気自動車、ハイブリッド自動車などのクリーンエネルギー自動車を普及させること	87
学校や地域などで地球温暖化や省エネ、新エネルギーに関する環境教育を行うこと	82
まちづくり（都市計画）に環境保全の考えを取り入れること	79
省エネなどライフスタイルの見直しを呼びかけること	75
会社や工場などへの規制や指導を行うこと	49
市民が行う地球温暖化防止活動に対して、補助金の交付などの支援をすること	41
住宅の断熱性を高めるよう促すこと	32
その他	4
わからない	10

○気候変動による影響への適応について

➤「気候変動への適応」という言葉を知っていますか。



➤気候変動への適応を進めていく上で、市に特にどのような取り組みを求めますか。

項目	回答数
河川の護岸整備、ハザードマップの充実などの「防災分野」	186
緑化の推進、害虫の発生環境の除去などの「生活分野」	108
湧水対策や雨水・再生水利用の促進などの「水環境・水資源分野」	108
高温耐性品種の開発などの「食料分野」	92
熱中症対策の充実などの「健康分野」	92
生物の保護区域の確保などの「自然生態系分野」	71
その他	3
わからない	18